

受注企業動向調査結果

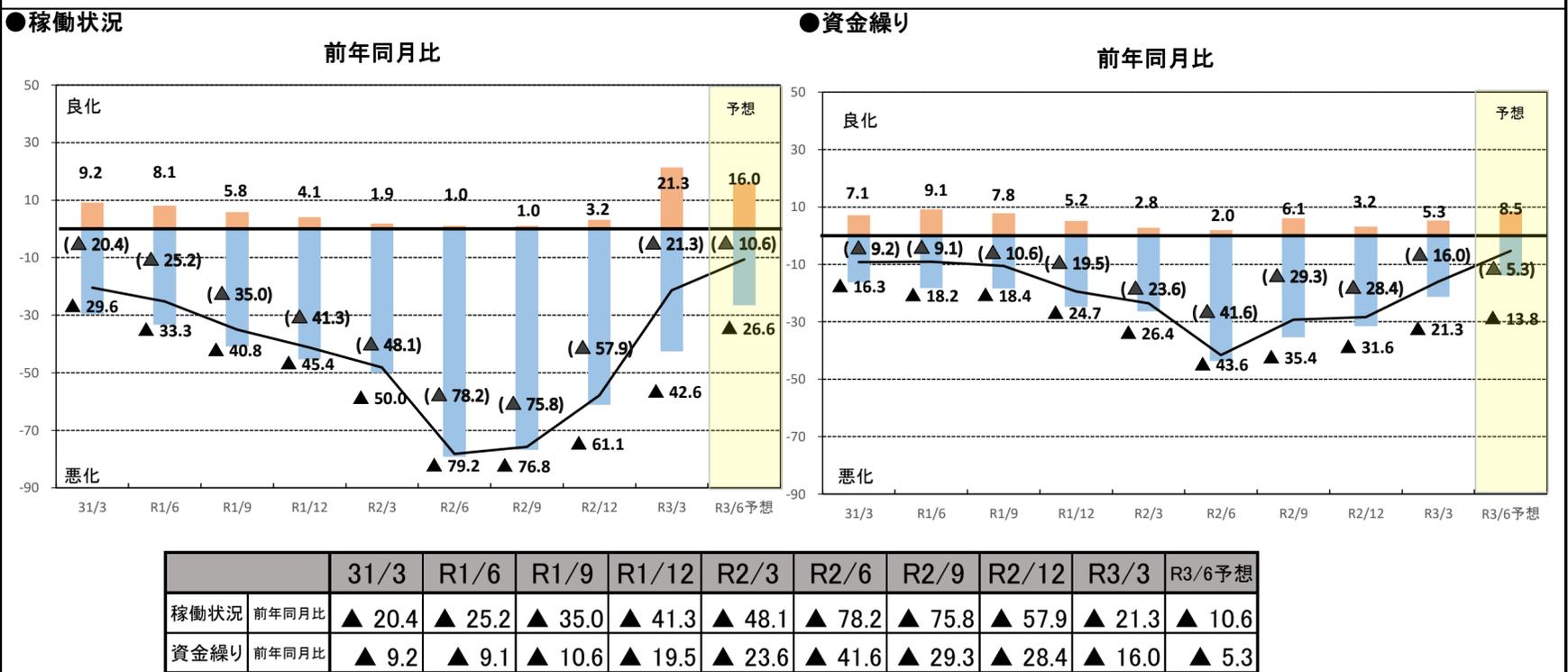
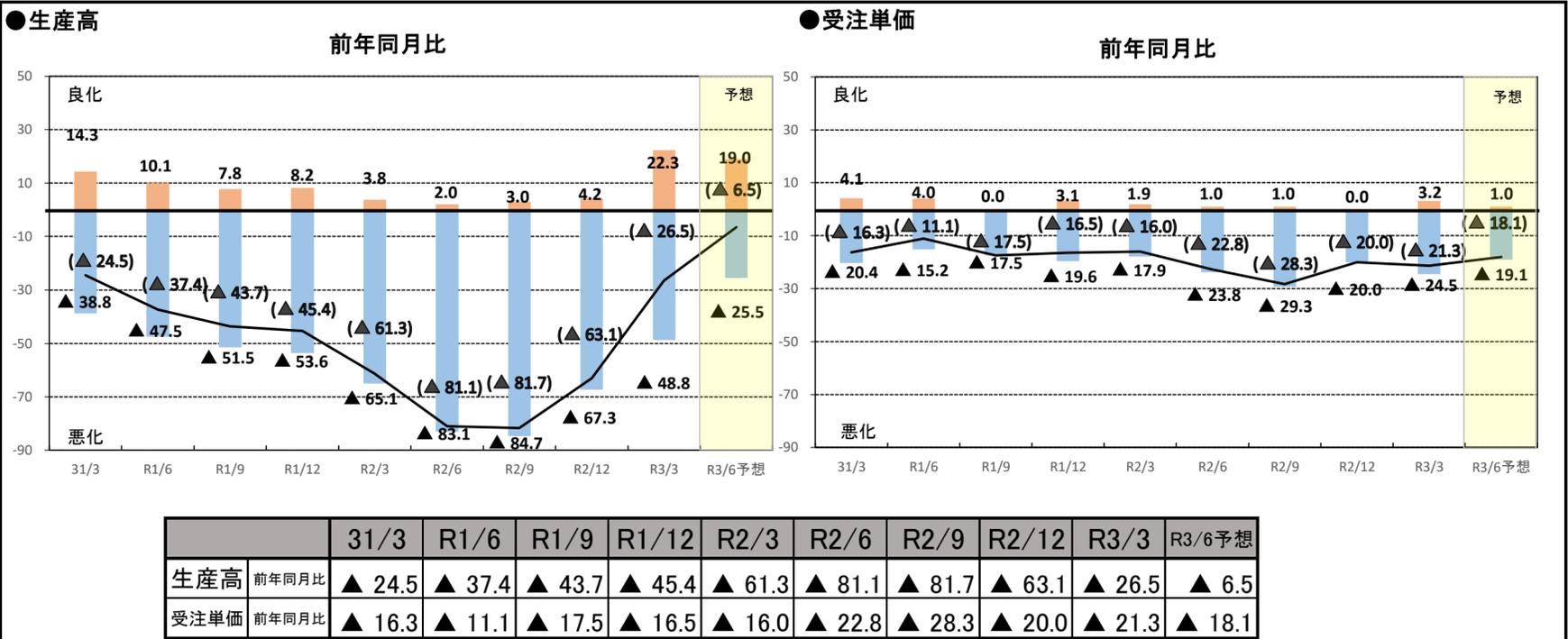
-2021.04-

- 調査時点 令和3年3月調査(令和3年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 94社(回答率:62.67%)

<業種内訳>

プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	7社
金属製品	15社
一般機械器具	22社
電気機器	19社
輸送用機器	6社
精密機器	11社
縫製	5社
計	94社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



- ### ●概要(総合)
- ・生産高(前年同月比)DIは▲26.5で前回の▲63.1から36.6ポイント増の改善となった。
 - ・受注単価(前年同月比)DIは▲21.3で前回の▲20.0から1.3ポイント減の悪化となった。
 - ・稼働状況(前年同月比)DIは▲21.3で前回の▲57.9から36.6ポイント増の改善となった。
 - ・資金繰り(前年同月比)DIは▲16.0で前回の▲28.4から12.4ポイント増の改善となった。
 - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲6.5で20.0ポイント増の改善、受注単価は▲18.1で3.2ポイント増の改善、稼働状況が▲10.6で10.7ポイント増の改善、資金繰りは▲5.3で10.7ポイント増の改善という予想になった。
 - ・その他自由意見として、コロナで先行き不透明だが少しずつ改善されている。材料費が高止まりしている。生産性改善のために設備投資を行いたいが、雇用を守るために資金を使ってしまって動けない。という意見が寄せられた。